

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 5 年 3 月 14 日

事業所名 あんふあん由木事業所

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	7	1			広々としていて全体が見渡せる
	②	職員の配置数は適切である	4	3	1	役割分担をしています	基準をみたしています
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	7	1			入口にスロープがあり車イス利 用者でも通所できる
業務改 善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル （目標設定と振り返り）に、広く職員が参画 している	5	3			スタッフ全員でミーティングをし ている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	6	2			毎年アンケートを実施している
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	3	4	1		公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	3	4	1		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	7	1			できるだけ研修の機会を設けて いるが、都合により研修に参加 できないこともある
適切 な支 援の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	7	1			お聞き取りシートや日々の情報 交換からニーズを把握している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	5	2	1	使用しています	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2	1		ミーティングの際に話し合っ ている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	5	2	1		ミーティング時にそれぞれ意見 を出し合って考えている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4	3	1		長期休みの時は課外活動を行 うこともあるので事前に保護者 に伝えています
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計 画を作成している	7		1		個別支援計画を作成している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	8				スタッフが集まった際に1日の流 れと注意事項を話し合っている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	4	3	1		パート、アルバイトも含めて行っ ているが、定時後は常勤のみで 話し合い、次の日のミーティ ングに備えている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	2			パート、アルバイトも全員が記 録をとっている

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑩	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	3	5			その都度話し合いを行い、検討 しています
	⑪	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	5	3			ミーティング等で話し合いながら一 人一人に必要な支援を行ってい ます。
	⑫	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	7	1			適切な職員が参加しています
	⑬	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	7		1	保護者から個別に 話を伺っている	学校や保護者からプリントをい ただいている
	⑭	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る	4	3	1		医療的ケアが必要な児童は受 け入れていません。
	⑮	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	4	3	1		無回答1名 必要に応じて情報共有していま す。
	⑯	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	4	3	1		必要があるときは提供していま す
	⑰	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	3	5			行われる研修は参加していま す。
	⑱	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある		6	2		コロナ過の為に交流する機会がな い
	⑲	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している		7	1		参加しています
	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っている	5	3			連絡帳や送迎時に直接話すなど している。お聞き取りシートも 参考に、子どもの状況を把握し ている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	1	7			保護者への適切な対応が出来 るよう研修等で知識の向上に努 めてまいります。
保	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	1	6	1		面談などで行っています
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	3	1		連絡帳や個別の面談などでお こなっている
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援 している		4	4	親子バーベキュー やうどん作りなどを していた	コロナ過のためできていない

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護 者 へ の 説 明 責 任 等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	2			内容や改善策などスタッフ間できちんと情報共有するようにしている
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4			お便りやホームページで発信している
	③⑤	個人情報に十分注意している	8				個人情報の取り扱いについては職員採用時にも説明するなど、常に周知しています
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				不安にならないように、一人一人関りも持つようにしています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	4		コロナ過のため参加できません
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		3		誰でも閲覧できるよう用意しています。保護者の方にお配りすることもあります
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		2		年に2度は避難訓練を実施している
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2	1		全職員が研修に参加できるようにし、研修に参加した職員は議事録を書いている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	5			必要児童に対して個別の書類を作成し、保護者へ説明し計画に記載しています
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	1	保護者から再度伺うようにしている	お聞き取りシートで把握している
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1		記入したら必ず全員	全員が記入できるようにしている

回答者 8名

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。